

各学会 御中

平素より当チームの活動にご協力下さいまして誠にありがとうございます。
国立遺伝学研究所 ABS 学術対策チームでございます。

この度、オンラインセミナーを下の通り開催する運びとなりました。
お忙しいところ大変恐縮ではございますが、貴学会にもご関係がおありかと存じますので、
会員の皆様方にご周知下さいますよう宜しくお願い申し上げます。
チーム一同、皆様方のご参加をお待ちしております。

○2021年7月15日(木) 9時30分～11時00分予定

2021年度 第1回 ABS オンラインセミナー

「国際 ABS ワークショップ：キューバ遺伝資源の取得と利用」((同時通訳あり))

演題：Implementation of ABS in Cuba

Ms.Lenia Arce Hernandez (キューバ環境規制・安全局 <ORSA>)

キューバの魅力を実際 渡航経験から

二村聡先生 (株式会社ニムラ・ジェネティック・ソリューションズ 代表取締役)

参加登録：http://nig-chizai.sakura.ne.jp/abs_tft/2021/06/18/1st_abs_internationalworkshop2021/

○2021年7月27日(火) 16時00分～17時30分予定

2021年度 生物遺伝資源国際ワークショップ

「分類学分野の ABS 対応－ロンドン自然史博物館と日本国内の事例」((同時通訳あり))

演題：ABS and Taxonomy: Challenges, solutions and the developing issue of DSI

Dr. Christopher H. C. Lyal (元ロンドン自然史博物館 研究員)

パネリスト：石田 孝英 先生 (国立環境研究所 高度技能専門員)

菊地 波輝 先生 (東京都立大学 特任研究員/ABS アドバイザリーチーム)

参加登録：<http://nig->

[chizai.sakura.ne.jp/abs_tft/2021/06/25/international_bioresource_workshop2021/](http://nig-chizai.sakura.ne.jp/abs_tft/2021/06/25/international_bioresource_workshop2021/)

【講演概要】

海外遺伝資源の ABS 対応について、分類学を例に幅広い分野に向けた講演内容となります。

演者の Lyal 博士は CETAF(ヨーロッパ分類学機関協会)の行動規範の策定に携わられました。

その経験に基づくご講演は、貴学会の ABS 対応に関する行動規範やルール作りのベストプラクティスとしてご活用頂けると考えております。